

導入部分：状況分析

本編部分：基本構想

はじめに

1 千葉市の概要

(1) 千葉市の変遷

- ①市域の変遷
- ②市域の現状

(2) 千葉市の人口

- ①人口の推移
- ②現状
- ③将来推計

2 本庁舎及び周辺エリアの概要

ハワホ説明

(1) 本庁舎の変遷と概要

- ①本庁舎の変遷
- ②現庁舎の概要

(2) 本庁舎敷地及び周辺エリアの変遷

- ①千葉港中央地区の埋立経緯
- ②現庁舎の立地経緯
- ③本庁舎周辺エリアの発展経緯

3 本庁舎の抱える課題と本庁舎整備の必要性

ハワホ説明

(1) 本庁舎の抱える課題

- ①防災面の課題
- ②分散化・狭隘化の課題
- ③老朽化の課題

(2) 本庁舎整備の必要性

4 本庁舎周辺エリアの特性と整備可能性

ハワホ説明

(1) 本庁舎周辺エリアの特性

(2) 本庁舎周辺エリアの整備可能性

5 本庁舎敷地周辺エリアの基本的な位置づけ

論点1

「東日本大震災」の教訓を踏まえ 97万人市民が将来にわたり安心・安全に暮らしていくための防災対策エリアとして位置づけます。

6 本庁舎整備の基本理念 ～なぜ本庁舎整備を進めるのか～

論点2

- 本庁舎は、防災対策エリアの中核施設としてふさわしい機能を高め、効率的で災害に強い建物を目指して、現敷地での整備を進めていきます。
- 本庁舎周辺エリア全体の防災力向上やまちづくりへの寄与を目指して、現敷地の機能強化を進めていきます。

7 本庁舎整備の基本方針 ～本庁舎・敷地の整備の方向性～

論点整理表

(1) 本庁舎のあるべき姿

アンケート参照

- ①非常時の業務継続性
- ②通常業務の遂行性
- ③経済性

(2) 本庁舎に求められる基本機能

アンケート参照

- ①地震をはじめ災害に強い構造
- ②非常時の業務継続機能
- ③利便性・機能性に優れ、環境に配慮
- ④優れたセキュリティを持ち、安全に業務を遂行できる庁舎
- ⑤ライフサイクルコストを抑制できる庁舎
- ⑥財政負担額を抑制できる庁舎

(3) 本庁舎敷地への機能配置

- ①行政機能
- ②議会機能
- ③防災機能
- ④・・・機能

(4) 本庁舎建設に向けた検討課題

- ①敷地の有効活用（配置の検討）
 - ・非常時における敷地利用
 - ・平常時における敷地利用
- ②敷地の安全性の確保

後日資料提示

基本構想では整備の方向性を定めるまでの議論に留め、詳細な検討は基本計画段階での議論を想定する。

8 その他の検討課題 ～防災対策エリアの形成に向けて～

論点3

- (1) みなと公園・周辺道路網の活用
- (2) 防災対策エリアに立地する企業・団体との連携